

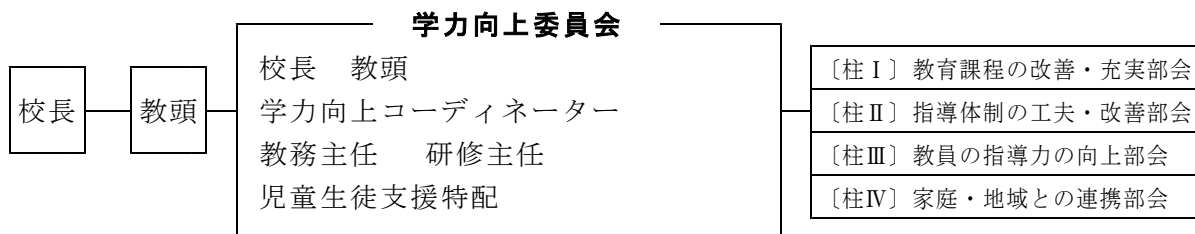
学力向上推進計画

安中市立西横野小学校

子どもたち一人一人に確かな学力を身に付けさせるために、学力向上コーディネーターが中心になり、学校として組織的・継続的に学力向上対策に取り組む。

1 組織的・継続的な取組

(1) 組織



(2) 組織的・継続的な主な取組

学力向上に向けた授業改善、主体的に学ぶ子どもを育てることを目標に、全校で取り組む。また、家庭学習の充実を図るために、ねらいや内容について教職員間で共通理解を図り、保護者への啓発を図る。

(3) 専門性を生かした指導の工夫

- ・ 授業交換をし、専門性を生かした指導体制を実施する。
- ・ 担当する教科等の数を少なくし、時間をかけてより深く教材研究に取り組む。
- ・ 教師が複数の学年の学習指導に関わることにより、指導内容等の系統性を踏まえて指導し、授業の質を高める。
- ・ 1つの学級に複数の教師がかかわることで、子どもの実態を多面的にとらえ、組織的な生徒指導を行う。
- ・ 理科 ----- 観察・実験の充実、科学的思考力の育成を目指した指導を充実させる。
理科室の活用法や予備実験への助言を行い、指導力を高める。
学習内容を精選し、理科学習の構造化を図る。
- ・ 図工 ----- 児童が自らの思いを追求して表す学習を充実させる。
表現及び鑑賞に関する資質能力を相互に関連させた学習の充実を図る。

(4) 家庭学習の充実

- ・ 教科、学年等に応じた内容や量を共通理解し、実施する。
- ・ 家庭学習を習慣化する意義を児童、保護者に啓発する。
- ・ 習慣化を図るための指導及び評価・検証のあり方を研究する。

2 実施上の工夫・配慮事項

- ・ 研修主任と連携し、組織的・計画的に研修を進めていく。
- ・ 全国学力・学習状況調査及び NRT 標準学力検査等を分析し、児童の実態や課題を明らかにし、授業改善に生かす。
- ・ はばたく群馬の指導プラン及び実践の手引きの活用を図る。
- ・ 管理職をはじめ、互いに授業を参観し、必要に応じて助言したり、よい取組を他の職員に紹介していく。